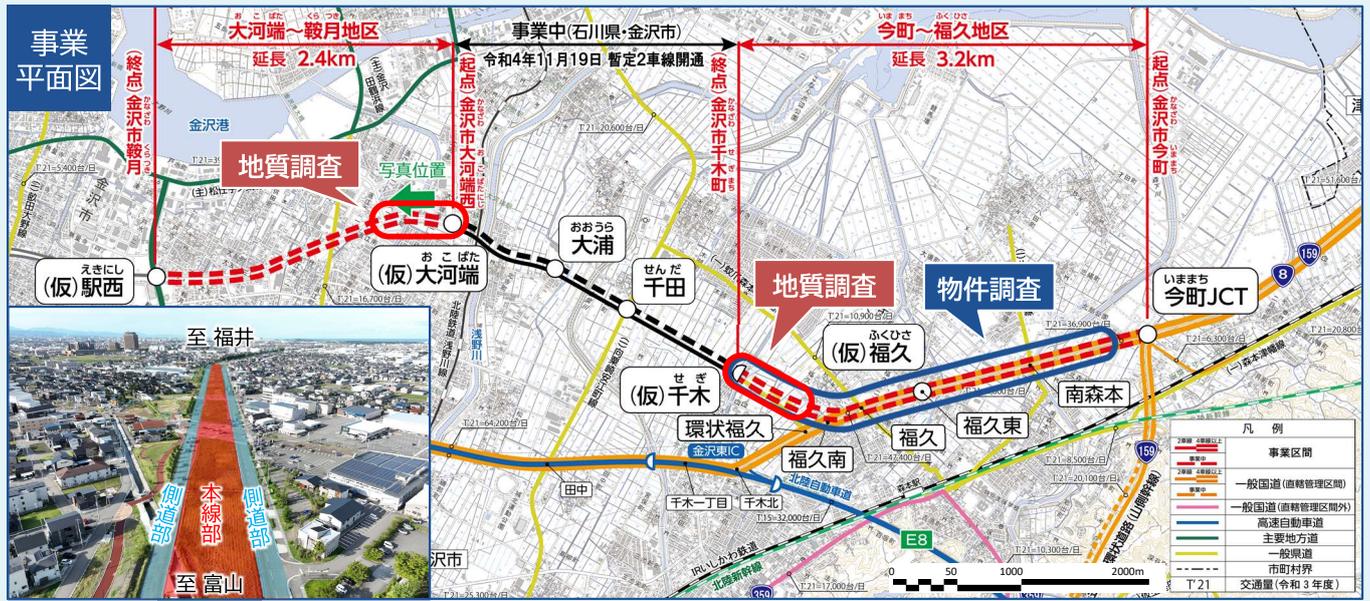


国道8号海側幹線(今町～鞍月)の事業推進にご理解・ご協力賜り、誠にありがとうございます。
今回は、事業の現在の状況についてお知らせと、地域の皆さまから寄せいただいた疑問などについてお答えします。

現在の状況

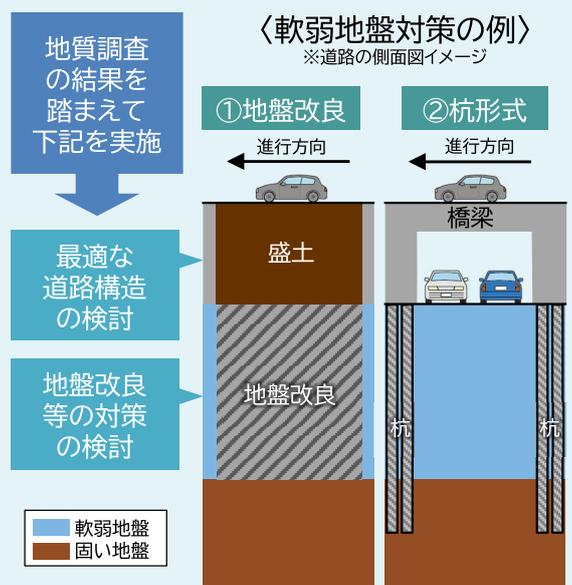
福久地区、及び大河端から鞍月地区において、地質調査を進めています。
また、今町から福久地区においては、用地測量や建物、工作物、立木などの調査を進めており、用地取得にも着手しています。



地質調査の状況

これまでに実施した地質調査では、これから道路を整備する予定の土地(事業用地)が、軟弱地盤※1であることが確認されました。今後も地質調査を進め、事業用地全体における地質状況を確認し、その結果を踏まえて、最適な道路構造の検討を行っていく予定です。

〈地質調査の様子〉



※1 「軟弱地盤」とは、軟らかく 上に重量の大きなものを載せると沈み込みやすい性質の地盤のことを言います。対策をせずに盛土をすると沈下するとともに周辺の地盤に影響を与えるおそれがあるため、上に載せる重量を支えることができる強度に地盤を改良する(①地盤改良)、その下にある固い地盤に杭を打ち込んで橋脚を支える形で橋梁構造(②杭形式)とするなどの対策が必要となります。

Q&A

地域の皆さまからお寄せいただいた疑問にお答えします。

Q. 海側幹線の目的とこれまでの整備状況は？

A. 金沢都市圏の交通の円滑化を図るため、「金沢外環状道路」(山側幹線、海側幹線)が計画され、整備が進められています。

海側幹線は、これまでに側道部の整備が完了し、今町～福久地区、大河端～鞍月地区の本線部の整備について、令和2年度に国直轄事業として着手し、進めているところです。

〈通過交通の迂回〉



都心部に用事のない車は
都心部を迂回して快適に通行

〈中心部への経路分散〉



都心部に向かうルートが増え、
車が分散して混雑が緩和

Q. 本線部と側道部、それぞれの役割は？

A. 本線部は交差する道路と立体交差するため信号がなく、主に通過交通が快適に走行できる道路です。側道部は、歩行者、自転車も通行でき、交差道路や沿道とアクセスできる道路です。(表面「現在の状況」の写真を参照)

Q. 建物、工作物、立木などの調査は何をするの？

A. 用地取得が必要な事業用地にある建物や工作物、立木について、補償額を算定するための調査です。調査にあたっては、確認のために建物の内部などに立ち入ることが必要になる場合がありますので、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

Q. 構造はいつ決まるの？

A. 現在、地質調査を継続実施中であり、その結果を踏まえて、コスト面も含めた最適な道路構造を検討した上で決定します。現時点で決定時期は未定です。

引き続き、地質調査を進めながら、道路の安全性や施工性、将来的な維持管理などを踏まえた道路構造について検討してまいります。

現在はここ▼

